

2025-01

大子町

防災

災害

自然
形
地
生
物

歴史

史跡

作品タイトル

受けとて！水害の記録 ～大子町の自然災害伝承碑を訪ねて～

解説

第26回いばらき児童生徒地図作品展最優秀賞受賞。2019年に大子町を襲った東日本台風は、特に久慈川流域に甚大な浸水被害をもたらしました。この災害を題材とし、自然災害伝承碑や被災場所の現地調査、役所での聞き取り、ハザードマップ分析という多角的な調査の成果を地図に重ね合わせて深い洞察を加えています。過去の災害の記録と現在のリスクを関連付け、災害の記憶を未来への備えに繋げるという強い説得力を備えた力作です。さらに、伝承碑の意義を再確認することで、地域社会に根ざした防災文化の継承の重要性を示した、完成度の高い作品です。

制作者

茨城県立日立第一高等学校附属中学校 1年 庄司 彩乃

制作者による紹介

令和元年東日本台風により、私が幼い頃に住んでいた大子町が甚大な被害を受けました。この研究では、明治時代に起こった水害の記録を残す3基の自然災害伝承碑と東日本台風の関係性を久慈川周辺のハザードマップをもとにまとめています。東日本台風での推定浸水区域と伝承碑の位置が一致していたことから、伝承碑は過去の災害の悲惨さを伝えるだけではなく、現在の私達への注意喚起にも役立っていることが分かりました。